



5S「知っていますか？」 「していますか？」

日々の安全な作業のために欠かせない「5S」。
でも、そのメリットを「知っている」だけでは不十分。
事務所や現場で実行「している」ことが肝心なのです！



5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）を見れば、その会社のレベルがほぼ判定できると言われています。それは5Sが安全・品質・能率・生産性・人間関係など、すべての活動のベースだからです。

5Sがなぜ重要なのか、右にまとめてみました。

- ①徹底されている職場には事故・災害が少ない
 - ②ムリ・ムラ・ムダが少なく、作業の能率や生産性がある
 - ③品質の良い製品はお客様の信頼を得ることができる
 - ④職場の人間関係が豊かになりモラルも向上する
- 以上4項目を参考に、全員参加で5Sを向上させましょう。
「今日も一日ご安全に!!」

1. 整理 Sort

捨てること

必要なもの、不必要なものを明確に分け、要らないものは捨てましょう。惜しくても捨てる勇氣が能率向上と安全につながります。



2. 整頓 Set

定置管理すること

必要なものを使いやすいようにキチンと置く。きれいに並べるよりも誰にでも分かるようにしておきましょう。置く場所を定め、使い終わったら直ぐ元の場所に戻し、誰でもいつでも使える状態にしておくことが大切です。



3. 清掃 Shine

掃除すること

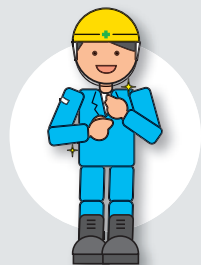
作業終了後は当たり前、作業中も作業品質が落ちないようにつねにきれいな環境を維持しましょう。



4. 清潔 Standardize

定められたものを正しく着用すること

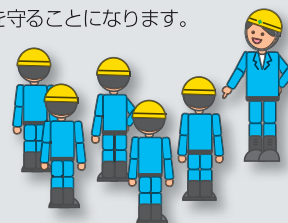
定められた保護具を正しく着用し、作業服などに乱れないようにしましょう。



5. しつけ Sustain

ルールを守ること

ルールを守るとは、自分を守り、仲間を守り、社会を守ることになります。



管理者の方へ

管理者は事故や災害を防ぐために「決めたこと、決められたこと」を皆が守るように指導し、また、守らせなければなりません。
まず管理者が「決めたこと、決められたこと」を知ることはもちろん、自らがそれを守り、配下に守らせることが管理者の義務です。

- (1) 決められていることを知り、それを「教育」する。
 - (2) 守るべきことを確認し、それを守るよう「指導」する。
- 職場全体で守るべきことを守り、決められていることを正しく行うことによって事故や災害をなくしましょう。

今日のワンポイント

言い訳は禁物！ 12の心の弱点を知り、不安全行動を防ぎましょう。

12の言い訳

- | | | |
|--------------------|--------------------|-------------------------|
| 1. 見えにくかった、聞きにくかった | 5. 深く考えなかった | 9. 疲れていた |
| 2. 気がつかなかった | 6. 大丈夫だと思った | 10. 無意識に手が動いた、反射的に手を出した |
| 3. 忘れていた | 7. あわてた | 11. やりにくかった、無理をした |
| 4. 知らなかった、わからなかった | 8. イライラしていた、不愉快だった | 12. からだのバランスをくずした |

